自動車メーカー・Tier1の実験室・試験設備へ

可搬型EV充電器

試験車両のそばで充電する。

充電のために、試験車両を充電設備まで移動していませんか。キャスター付きの充電器を車両のそばへ運び、三相AC200Vのコンセントに接続して充電できます。



15 kW

通常出力

ブースト出力 18 kW

150-500 V

標準出力電圧

61 A

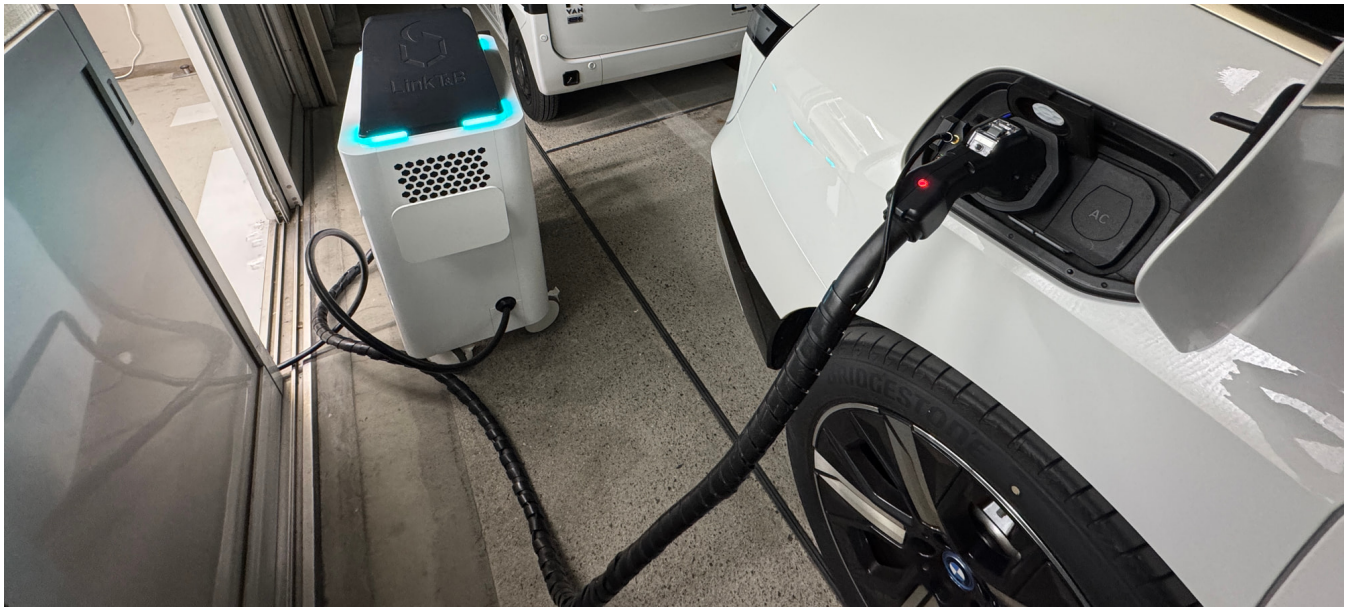
定格出力電流

屋内専用／屋内外用。開発・評価用途の導入相談を受け付けています。

APPLICATIONS

御社の実験室・試験設備での使い方

治具や計測機器を取り付けた試験車両は、充電のたびに移動するのが大変です。可搬型EV充電器なら、充電器を車両のそばへ運べます。車両の配置や試験場所に合わせてお使いいただけます。



試験車両への接続例

実験室・車両開発ベイ

治具や計測機器を取り付けた車両を動かさずに、そばに置いた充電器で試験の合間に充電します。

複数車両の評価ヤード

充電が必要な車両に合わせて充電器を移動します。屋外では屋内外用モデルを使用します。

試験場所の変更

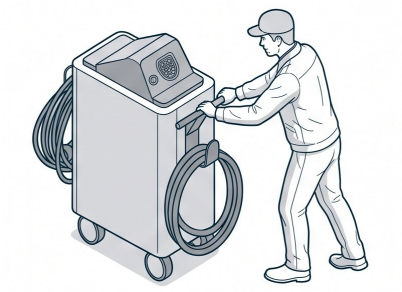
試験場所が変わったら、充電器も移動できます。充電を停止してケーブルを外し、移動先の三相AC200Vコンセントに接続します。

EVERYDAY CHARGING

可搬型EV充電器の普段の使い方

充電が必要な試験場所へ充電器を運び、電源と車両を接続します。

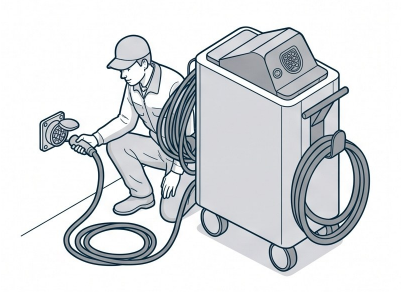
STEP 1



充電器を試験場所へ移動

ケーブルを外した充電器を、充電に使う実験サイトへ移動します。

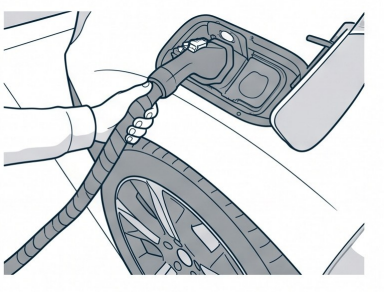
STEP 2



電源コンセントに接続

本体背面の電源コードを、アメリカン電機のコンセントに接続します。

STEP 3

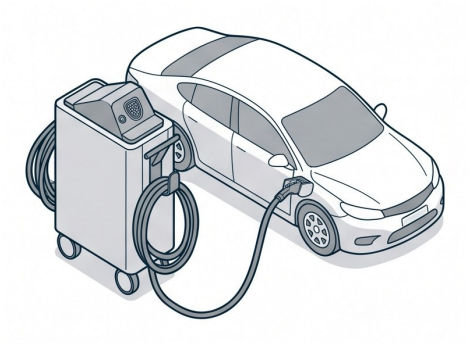


車両の充電口に接続

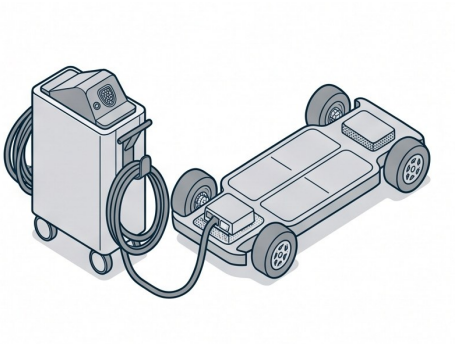
EVまたはEV車両プラットフォームの充電口に、充電コネクタを接続します。

STEP 4

自動で充電を開始



EVへの充電



EV車両プラットフォームへの充電

One Charge Keyが接続した車両を識別し、自動で充電を開始します。

One Charge Keyで車両ごとに表示・管理

充電制御（デマンドコントロール）
充電電力量・積算充電電力量
電圧・電流・充電完了時間

※イメージ画像

SETUP BEFORE FIRST USE

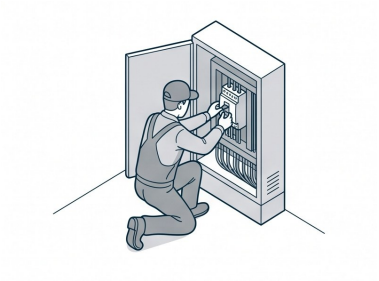
可搬型EV充電器の導入準備

電源設備とOne Charge Keyを準備すれば、以後は充電器を移動し、電源と車両に接続して使えます。

電気設備の準備

電気工事業者による設備工事

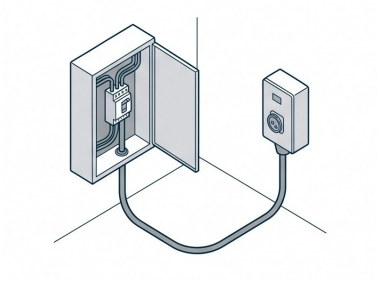
STEP 1



漏電ブレーカーを設置

三相AC200Vの分電盤に漏電ブレーカーを設置します。

STEP 2



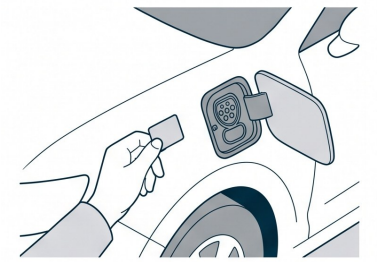
BOXとコンセントを設置

分電盤からケーブルを延ばし、
サーキットブレーカーBOXと
アメリカン電機のコンセントを設置します。

電気設備の準備完了

One Charge Keyの準備

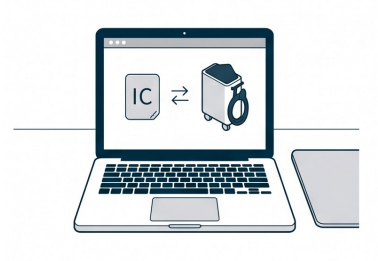
STEP 1



KeyICシールを貼り付け

EVまたはEV車両プラットフォームの充電口近くに、KeyICのシールを貼り付けます。

STEP 2



KeyIC番号を登録・紐づけ

One Charge Keyプラットフォームに
KeyIC番号を登録し、充電器と紐づけます。

One Charge Keyの準備完了

※イメージ画像

ONE CHARGE KEY

One Charge Keyで、車両ごとに充電を管理する。

One Charge Keyは、充電口の近くに貼ったKeyICで車両を識別し、車両ごとに充電状況や履歴を管理します。可搬型EV充電器と組み合わせて利用できます。



One Charge Keyの管理画面例

01	**車両と充電器を確認**	どの車両が、どの充電器・登録地点につながっているかを確認。
02	**充電中の情報を見る**	バッテリー残量（SOC）、電圧・電流・電力など、取得できる情報を表示。
03	**充電の記録を残す**	車両ごとの充電履歴や、記録された電圧・電流から算出した充電電力量を確認。

ELECTRICAL SPECIFICATIONS

ラインナップと共通仕様

屋内専用と屋内外用の2種類をご用意しています。以下の電気仕様は共通です。使用場所に合わせてお選びください。

屋内専用

実験室・車両開発ベイなど、屋内の試験場所に。

屋内外用

屋内の開発ベイから、屋外の評価ヤードまで。

電気的仕様

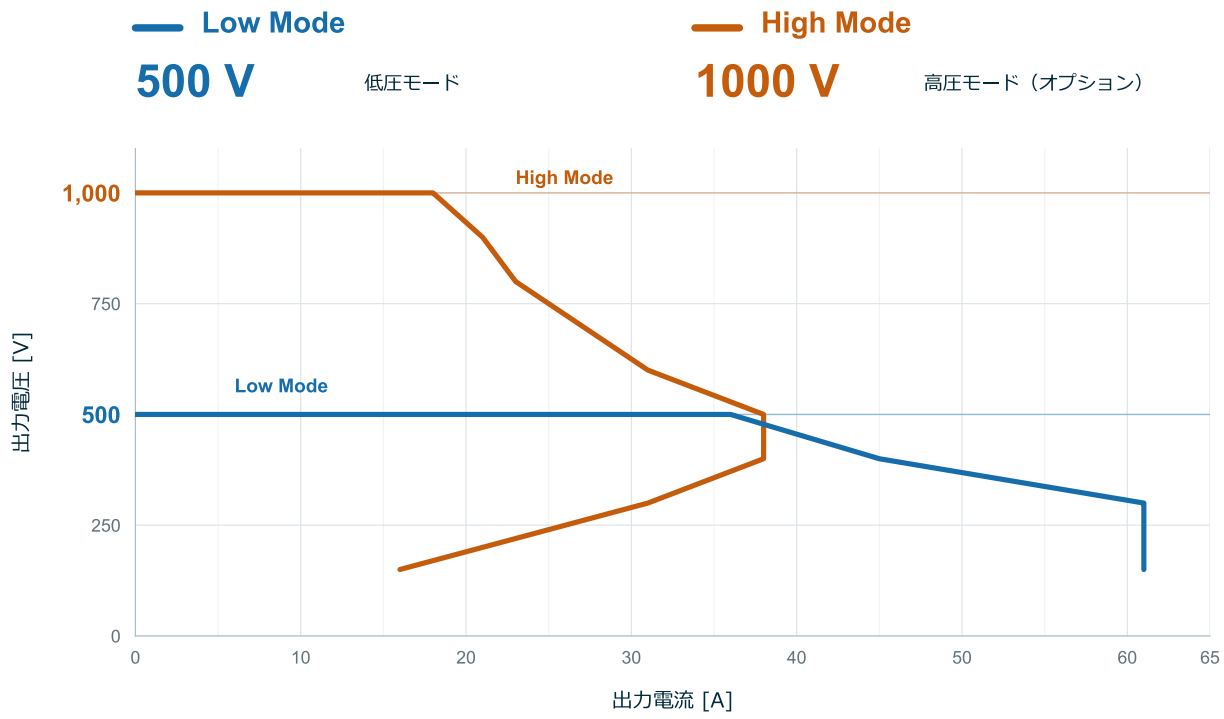
入力電源	**三相AC200V**
入力周波数	**50 / 60 Hz**
入力接続	**コンセントタイプ（オプション：端子台）**
出力電圧（標準）	**DC150～500V**
出力電力（最大）	**通常15 kW／ブースト18 kW**
定格出力電流（標準）	**61 A**
ハイモード（高電圧、1000 V）	**対応（オプション）**
充電機能	**充電専用**

充電方式・通信仕様

充電方式	**CHAdeMO 2.0.1**
通信仕様	**Wi-Fi**
通信オプション	**携帯キャリア回線**

OUTPUT CHARACTERISTICS / POWER CONNECTION

出力特性とコンセント仕様



Low Mode（低圧モード）／High Mode（高圧モード・オプション）

電源接続用コンセント

メーカー・型番	**アメリカン電機 41026EW**
形式・定格	**接地形3P・100A・250V／引掛形防水形パネルコンセント**
適用電線・接続方式	**38 mm²／圧着端子式**
コンセントの保護等級	**IP65（41022RW接続時／防水カバー装着時）**

INTRODUCTION / ENGINEERING SUPPORT

御社の試験設備に、可搬型EV充電器を導入しませんか。

Link T&Bが、御社の実験室や試験設備に合わせて導入をご提案します。充電設備まで車両を移動する手間や、試験の合間の充電でお困りでしたら、ご相談ください。1台からの導入について、接続方法・価格・納期をご案内します。

三相AC200Vのコンセントに接続

コンセントタイプを標準でご用意しています。端子台接続にもオプションで対応します。



コンセントタイプ

三相AC200Vの専用コンセントに接続します。充電器を試験車両のそばへ運び、充電ケーブルを車両に接続して使います。

端子台接続（オプション）

分電盤から充電器の端子台へ電源を接続する構成にも対応します。

開発・評価用途での導入について

現在、試験を進めている製品です。ご使用条件と試験状況をご説明したうえで、開発・評価用途での導入をご案内します。

関連する開発・評価もご相談ください

パワーエレクトロニクス関連の開発、設計、評価などのご支援をさせて頂いております。受託開発、準委任・SESによる開発支援、技術顧問など、ご相談内容に合わせた形で対応します。

可搬型EV充電器の導入を相談する

linktab.jp / お問い合わせ → EV充電の導入・運用

製品ページ・使い方を見る

https://linktab.jp/ev-lab.html